



 **Season** off

2023 Fall & Winter Collection

| Concept

「普通」の洋服も 誰かの「特別」な洋服





History

Season offのものがたり

織物の街として知られる群馬県桐生市にある小さな縫製工場からシーズンオフは誕生しました。縫製工場はメーカーから縫製の依頼を受け、その作業に従事しますが、どうしても手が暇になる期間が発生してしまうことがあります。つまり、「暇な時期」です。仕方がないこと。とただ受け入れるだけではなく、縫い手のさらなる技術向上も含めて有効活用しようと考え、手が空いてしまう期間=【シーズンオフ】に自分たちでも洋服づくりをはじめたのが立ち上げのきっかけとなりました。

生地品質はもちろん、縫製の仕方、ボタンひとつにまで独自のこだわりを持ち、“安価なもの”ではなく、“優れたもの”を提供することを志してきました。最初は手が暇な時期に洋服づくりを始めましたが、商品に共感し、喜んでくださるお客様が現れたことで、わたしたちのものづくりへの情熱を一層燃え立たせました。

こうして2016年、ファクトリーブランド、Season offとしての活動を本格的にはじめました。

アイコンに込めた思い



Season offのアイコンは立ち上げが秋だったことから落ち葉をモチーフにしています。葉が落ちることは、いつの時代においても自然の摂理です。そのような落ち葉は、流行に左右されないベーシックなデザインの価値を表現しています。また、落ち葉は自然の循環を象徴していることから、わたしたちの洋服には天然素材を使用し、環境への配慮と着心地の良さを大切にしています。

すべての洋服にはアイコンの刺繍が施されています。洋服が形になった後の「ハギ目」と呼ばれる縫い目の部分に、最終工程で丁寧に刺繍を施すことで洋服の完成を示しています。また、作り手の愛情が身に着ける人へと届くことを願った刻印としても表現されています。





｜ KIRYU

桐生は日本の機どころ

群馬県桐生市



「織都1300年」と誇るように、奈良時代から絹織物の産地として名高い桐生市。桐生市は群馬県の南東部に位置し、市の7割にも及ぶ赤城山や日光連山などの山々に囲まれ、渡良瀬川と桐生川が穏やかに流れています。この自然に囲まれた環境は、山々の緑と水に恵まれた美しい景観を生み出しています。

市街地はレトロな雰囲気漂う建造物が立ち並び、その中には繊維工場や織物工場をはじめ、カフェや飲食店、アトリエなどの小さなお店が連なっています。

では、なぜ桐生は織物の街として発展したのでしょうか？

その理由はいくつかの説がありますが、中でも古くから語り継がれてきた「白瀧姫伝説」という物語があります。この伝説は、美しい姫である白瀧が約1200年前、桓武天皇の時代に婚姻を通じて桐生の地で暮らすことになりました。彼女は養蚕、製糸、機織の技術を持っており、これらの技術を地元の人々に教え、伝えたことが桐生織の起源とされています。

その後も、桐生織は「西の西陣、東の桐生」と称され、江戸時代から明治、大正、昭和といった日本の繊維産業を支えました。昭和中期には、群馬県内で最多の人口を有する市となり、繊維産業と共に繁栄を極めました。現代でも、その当時に偲ばせるノコギリ屋根工場などの産業遺産が多く残っています。

現在でも染色、織物、刺繍、生地整理加工、縫製と一貫生産ができる、関東では最大の繊維複合産地として知られ、国内にとどまらず、世界中のファッション業界に携わっています。

これら千年を超える歴史と伝承された技術によって、「織物の街、桐生」という名が築かれたのです。

| TEXTILE

桐生の織物

桐生は、奈良時代から「あしぎぬ（絹）」を朝廷に献上したとあるように古くからの絹織物産地です。江戸時代には幕府から天領（幕府直轄の領地）とされ絹織物と共に発展を遂げました。

桐生で織られる織物は「桐生織」と呼ばれ、主にジャガード織やドビー織のこととします。明治～昭和と和装の衰退とともに洋装織物への転換が進み、繊維産業はファッション産業として注目を集め、桐生織は現在でもわたしたちの着る服に活かされています。

ジャガード織は、タテ糸を1本1本個別に動かして柄やデザインを直接織り込んでいく技法で、生地自体に立体感を生み出し複雑な柄を織るのに適しています。織られて作られた柄はプリントでは表現できない美しい立体感を持ち、伝統ある技術の粋を感じさせます。また、「カットジャガード」と呼ばれる、織り上がった後に糸を切り取る技法は多くのブランドからも賞賛を受ける技術であり、織物の街ならではの職人技です。

一方、ドビー織は手機（延長機）の延長線上で、タテ糸を一定の本数で上下させて小さな柄やチェック、ストライプなどの連続した柄を織る技法です。この織り方は緻密な組織を実現し、非常に滑らかで整然とした生地を生み出す特長があります。

桐生は絹織物産地だったことから、ポリエステルやレーヨンなどの化学繊維がタテ糸によく用いられていますが、日常着を謳うSeason offではタテ糸に天然素材（綿やシルク）を使うことで、桐生の織物をSeason offらしくお届けしています。





Ⅰ BASIC LINE

ワークライフシャツ

それはあるお客さまの一言からでした。 「7分袖のシャツが欲しい」

飲食店経営をしており、食事の提供など仕事をするときに長袖シャツだとカフスのボタンを外して腕まくりをしても落ちてきてしまって作業しづらいとの事。他にもカフェの店員さん、美容師さん、花屋さんなど、人前に出て仕事をするお客さまとも接しますが、きっと同じような悩みを抱えているのだらうと思い、たどり着いたのがこのワークライフシャツでした。



人前に出て仕事をする方たちが作業しやすく オシャレにいただけるシャツ

トレーナーやパーカーなどのスウェットの袖口をヒントに、袖口をカフスではなく伸縮性のあるリブ使いにし、腕まくりをしても落ちてきづらいシャツに。また、作業時に物を多く入れられるようにサイドに大きめなポケットを付け、生地が裂けないようにカン止め（補強）を施しています。生地には何度洗っても型崩れしにくく、乾きも早い超長綿タイプライター生地を使用。やわらかくサラッとした生地なので、日常着としても活躍してくれます。襟、台衿、前立てに入れる芯地は通常の接着芯ではなく水溶性の芯を使用し、水洗いすることによりあえて剥離させてしっかりと同時にやわらかさも出しました。

このようにしてワークライフシャツは生まれ、多くの方々に喜んでいただくことができ、今シーズンで3シーズン目となり、Season offの定番アイテムの1つとなりました。



High Density Stripe

高密度ストライプ

高密度に織られたストライプ生地。

細かい糸の編み目により、程よいハリが特徴。

ネイビーカラーを基調とし、爽やかな風合いを演出。

やや薄手で軽量なので着用時に重くならず、快適な着心地を実現。



S0S083F ワイドシャツ ¥17,600
S0L083F バルーンブラウス ¥13,200
S00P083F シャツワンピース ¥25,300



French Linen

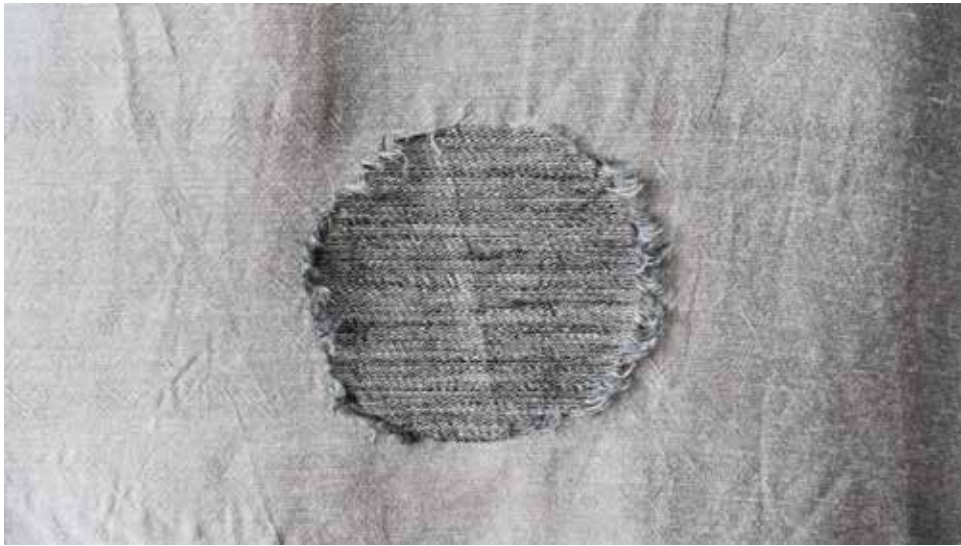
フレンチリネン

フランス産の上質な麻素材で作られたフレンチリネン生地。

ドライタッチな麻素材に起毛をほどこすことで、

あたたかみのあるソフトな膨らみ感が生まれ、心地よい肌触りを実現。

S00P093F	ワンピース	¥31,900
S0L093F	ギャザーブラウス	¥19,800
S0PT093F	テーパードパンツ	¥22,000



KIRYU TEXTILE

Cut Jacquard

カットジャガード

織りながら柄を作っていくジャガード織は
桐生らしさ溢れる生地に。
刺繍やプリントには出せない
独特の雰囲気着る人を魅了する。



SOL013F	ブラウス	¥22,000	S00P013F	ワンピース	¥33,000
SOPT013F	ワイドパンツ	¥24,200	S0T013F	Tシャツ	¥16,500



Triple Gauze

トリプルガーゼ

ガーゼを贅沢に3枚重ねて仕立てられた生地。

生地の中に空気を多く含むことができ、

空気は断熱材としての役割を果たし、

保温性を高める効果も。

ふんわりとした軽さを持ち、

やわらかな風合いが快適な着心地を提供。





KIRYU TEXTILE



Cotton Wool Jacquard

綿ウールジャガード



タテ糸に綿、ヨコ糸にウールを使ったジャガード生地。

葉を模した柄が華やかで上品な印象に。

ジャガードの美しい立体感は特別な装いとしても

日常着としても活躍してくれる。



S0JK023F ジャケット ¥20,900

S00P023F ワンピース ¥28,600

S0SK023F スカート ¥26,400



Tsuri Pile

吊りパイル



希少な旧式の吊り編み機を使用して、
丹念に編み上げられた「吊りパイル」。
水洗い・タンブラー乾燥を施し
繊維を縮絨することでパイルの目が詰まり、
生地表面が均一で密度のある質感に。
ふわっとしたやさしい肌触りが際立つ、
あたたかみのある生地に仕上がっている。





Wool Linen

ウールリネン

冬を代表する素材であるウールとリネンをブレンドした生地。

ヘリンボーン柄がクラシカル感を演出。

生地の表面に起毛をかけ毛羽立たせており、ふっくらと弾力感と程よい柔らかさが特長。



S00P153F シャツワンピース ¥35,200
S0PT153F ワイドパンツ ¥26,400

Wool Napping

ウールナッピング



ウール素材で作られた、あたたかみのあるウールフラノを
ナッピング調に起毛し肉厚でふんわりとした風合いに仕上げた生地。
ナッピングによる毛羽立ちが肌に触れる面積を増やすため、
ウール独特のチクチク感を軽減し、やわらかい肌触りと
ふんわりとした触感が心地よい着心地を提供。





Luminary Wool

ルミナリーウール

艶やかでなめらかな肌触りのウールスムーズ素材。
程よいハリ感と強いキックバック*が身体にフィット。
毛羽立ちが少なくクリアな表情を持ち、
高級感のあるドレープ性が魅力。

*生地を伸ばしたあとに元の形に戻ることに



Mini Muffler

ミニマフラー

ウール100%の天竺の中肉素材。
見た目はミニサイズながらも首に密着するため、
しっかりとウール特有の優しいあたたかさを感じられ、
本来のマフラーの役割を発揮。



SHOP

桐生の小さなカフェ&ライフスタイルショップ

縫製会社が手がけるカフェ&ライフスタイルショップ、EACH OF LIFE THE SHOP。ファクトリーブランドSeason offを中心に、桐生で生まれた作品や製品、そして普段の暮らしに彩りを添えてくれる商品を展開しています。

また、カフェでは日々の多忙から解放されるような、スペシャルティコーヒーも提供しています。

■SHOP

EACH OF LIFE THE SHOP
群馬県桐生市広沢町2-4106
TEL 0277-46-8787
11:30~19:30 (日曜日のみ10:30~18:30)
火曜日定休

■OFFICE

株式会社ナガマサ
群馬県桐生市広沢町2-4106
TEL 0277-54-0739

■Season off

Instagram



ONLINE SHOP



■EACH OF LIFE

Instagram



ONLINE SHOP



HOME PAGE



カタログ内の価格は税込価格となっております。
仕様変更に伴い、カラーや価格が異なる場合がございますのでご了承ください。

